

2020 年度 地域主体のまちづくり推進事業の概要

1. 事業概要

① 目 的

都市及びその中心部では、地域主体のまちなかの活性化、プレイスメイキング、防災まちづくり、景観形成、交流拠点づくり、住宅地のマネジメントなど、近年、地域主体のまちづくりの芽が出てきている。このような地域主体のまちづくりを育てることで、まちのエリアマネジメントへ繋がることが期待される。

地域主体のまちづくりでは、理論とともに経験の共有が必要である。当該普及啓発事業においては、経験を活かしたレクチャーと理論をもった専門家の助言のもと実践に向けたワークショップ・活動を行うことが有効である。多様な専門家のネットワークを持つ当協会が、経験とノウハウを活用し、全国的に地域主体のまちづくりを普及すること、及び、テキスト等を作成し広く社会と共有することを目的に実施する。

② 実施期間

2020 年 8 月 1 日から 2021 年 6 月 30 日

③ プログラム内容

1) 地域向け地域主体のまちづくり出前講座

まちづくりに取り組みたい団体を対象に、テーマリクエストに応じた講師を派遣する。

1～3 回の出前講座を開催し、各回ともに、前半は講師によるレクチャー、後半は参加者により、当該地域のまちづくりを具体化するためのワークショップを開催する。

2) 自治体職員向け地域主体のまちづくり出前講座

地域主体のまちづくりを普及するためには、自治体職員に知識や情報を伝えることが有効である。地域主体のまちづくりに取り組みたい自治体職員を対象に、テーマリクエストに応じた講師を派遣する。

1 回の出前講座を開催し、前半は講師によるレクチャー、後半は参加者により、当該自治体で地域主体のまちづくりを推進するために必要なことについてワークショップを開催する。

3) 三陸沿岸まちづくりワークショップ

東日本大震災の被災地において、復興に関する進捗状況の報告、意見交換を実施する。

4) プレイスメイキングワークショップ

地域主体のまちづくりの内容として、プレイスメイキングを推進したい地域が多いことを踏まえて実施するプログラムである。プレイスメイキングのノウハウは、実践によって培われる部分が多い。そこで短期間のプレイスメイキングを体験し、その結果を踏まえて、ワークショップを行い、事業化に向けた検討を行うプログラムを実施する。

5) まちビト・トーク

地域主体のまちづくりの担い手として、若者を望む声が多い。若者の思考は都市計画や建築の専門家に限定されておらず、幅広い分野の中のまちづくりの先導者の経験を求めることが、当協会のこれまでの活動で認識された。

そこで、若手のまちづくりの先導者やプランナーの卵を対象として、都市計画や建築の専門家以外で、まちづくりの先導役として活躍している人を講師として招きレクチャーを聞き、そのあと、まちづくりの先導役の資質について意見交換を行うワークショップを開催する。

6) みんなのまちづくりNOTEの作成

当協会のこれまでの実績を活用し、地域が主体となってまちづくりを進める際に参考となるガイドライン（具体的なまちづくりの進め方や経験則を記す冊子）を作成し、配布するとともに、日本都市計画家協会のホームページで公表する。

7) 地域主体のまちづくりフォーラム

1) ～6) の活動の報告と地域主体のまちづくりを普及させるための意見交換を行うためのフォーラムを開催する。講師による基調講演等とともに、各種ワークショップを開催した地域からパネラーを招聘し、当該事業の成果、地域主体のまちづくりの推進方策について協議を行う。

④ 実施地域

①地域団体を対象とした地域主体のまちづくり出前講座（6地区）

- ・大船渡市甫嶺地区まちづくり委員会
- ・熊本市サクラマチ地区
- ・宝塚市米谷地区
- ・長久手市ジブリの里
- ・長泉町鮎壺公園周辺地区
- ・熊本災害復興の会

②自治体職員向けの地域主体のまちづくり出前講座（4自治体）

- ・山口市
- ・つくば市
- ・焼津市
- ・三鷹市

③三陸沿岸まちづくりワークショップ（3地区）

- ・石巻市
- ・岩手県大槌町
- ・気仙沼市

④プレイスメイキングワークショップ（1地区）

- ・日立市常陸多賀駅周辺地区

⑤まちビット・トーク（2回）

※リモート会議形式で実施。特定の地区は無し）

⑥地域主体のまちづくりガイドラインの作成・配布・公表

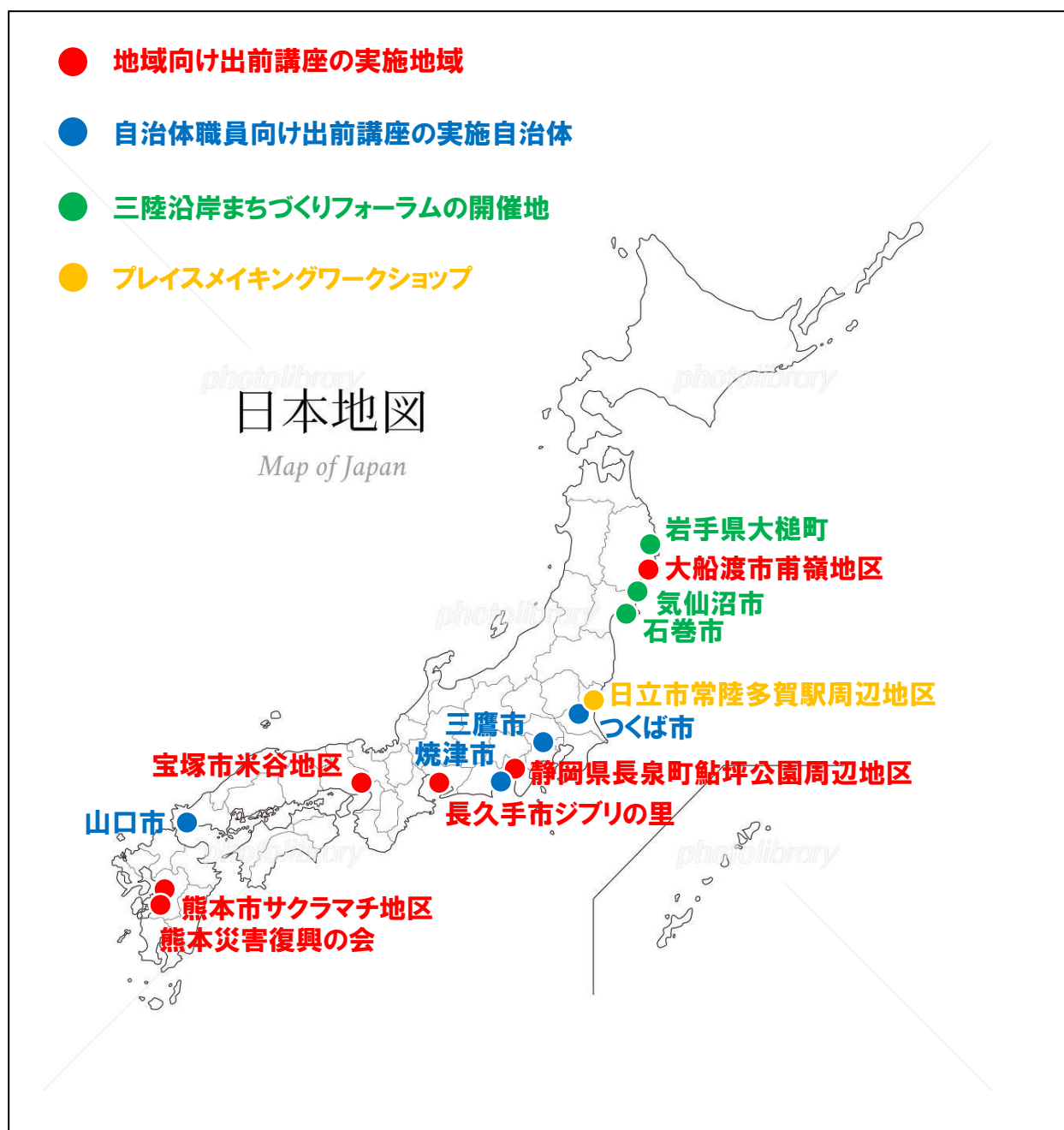
みんなのまちづくりNOTE 4テーマの作成

- ・復興まちづくり
- ・防災まちづくり
- ・まちの拠点づくり
- ・景観まちづくり

⑦地域主体のまちづくりシンポジウムの開催

出前講座の開催地から参加者を募り、地域主体のまちづくりについて意見交換を実施

【位置図】



2. 実施内容

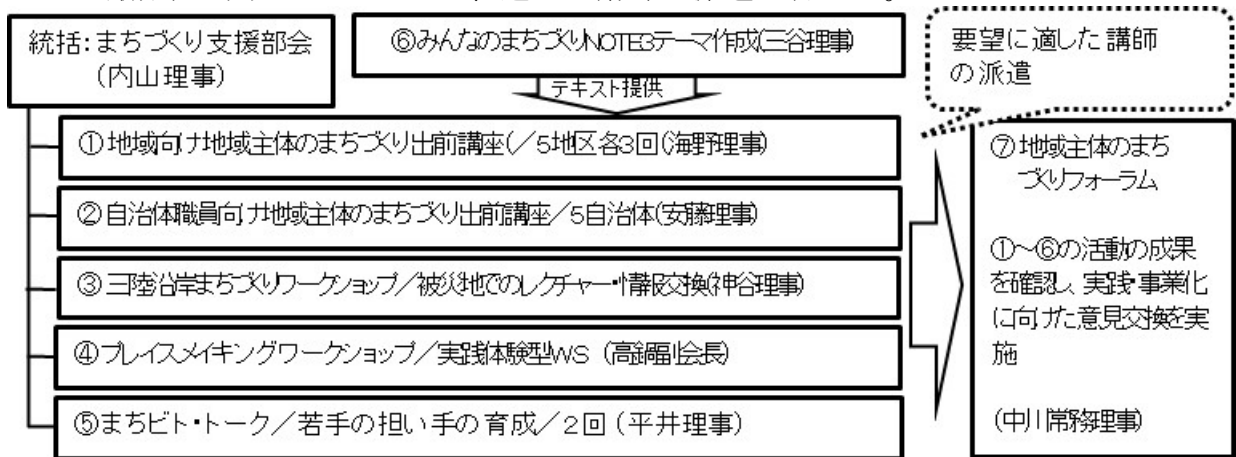
(1) 目 標

- ・地域主体のまちづくりを推進したい地域団体への情報提供と人材育成
- ・地域主体のまちづくりを推進したい自治体への情報提供
- ・地域主体のまちづくりに関するノウハウの公表

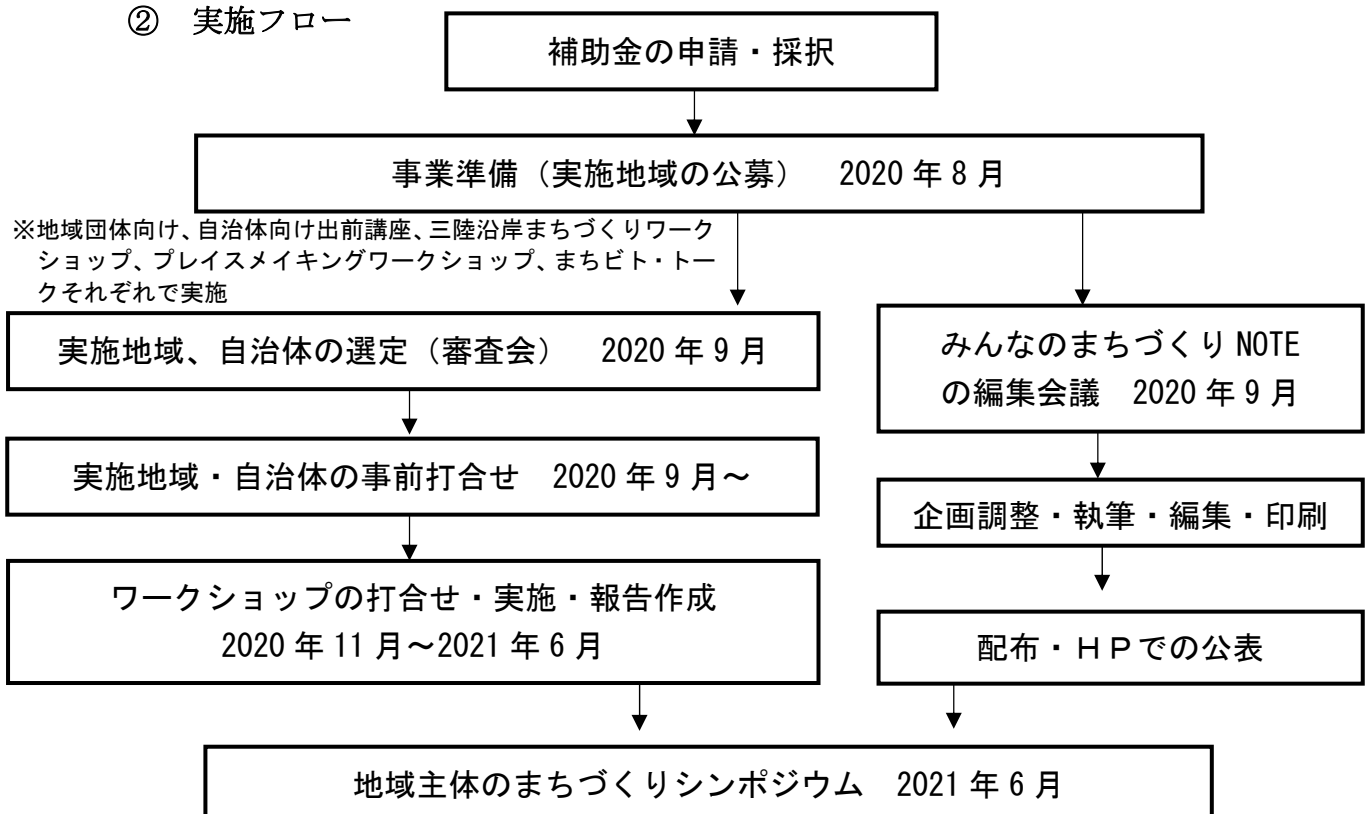
(2) 実施状況

① 実施体制

- ・日本都市計画家協会内に設置するまちづくり支援部会（担当：内山理事）が主体となり、本事業をマネジメントした。
- ・また、7つの事業について担当の理事が運営する体制とした。
- ・地域や自治体等からのテーマの要請に応じて、日本都市計画家協会の会員または当協会のネットワークから、適した講師の派遣を行った。



② 実施フロー

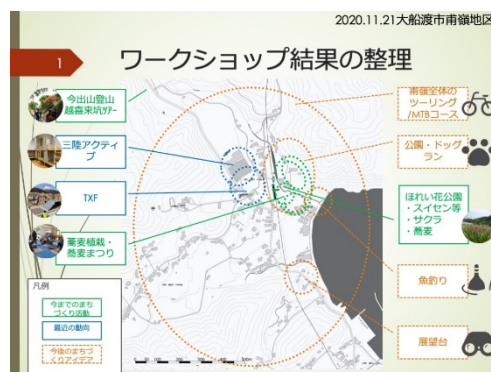


(3) プログラムの実施概要

I. 地域団体向け地域主体のまちづくり出前講座

①大船渡市甫嶺地区

テーマ	①小学校廃校跡地を活用したまちづくり事業 ②まちづくり会社と地域との関係づくり
実施経緯（3回）	2020年11月20日 2021年5月8日 6月20日
講師	神谷秀美 安藤裕之 平井一步 内山征



②熊本市サクラマチ地区

テーマ	まちの緑化推進
実施経緯（2回）	2021年2月13日 2月20日
講師	井上忠佳 上野砂由紀 内倉真裕美 平工詠子 加藤晋介 源香 永村裕子



③宝塚市米谷地区

テーマ	逃げ地図づくりワークショップ
実施経緯（2回）	2020年11月21日 2021年6月21日
講師	山本俊哉 本塚智貴



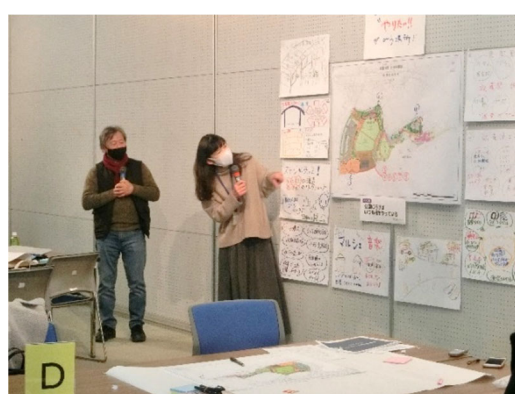
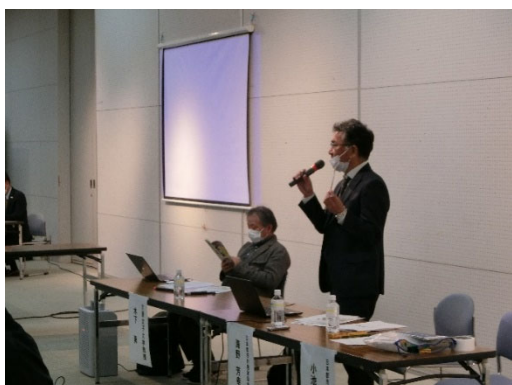
④長久手市ジブリの里

テーマ	農を活かしたまちづくり
実施経緯（3回）	2020年12月22日 2021年1月27日 2月19日
講師	小谷俊哉 小野淳 藤森幹人 中尾真也 南部良太 熊谷悠之 田村亨 佐藤留美



⑤静岡県長泉町鮎壺公園周辺地区

テーマ	パークマネジメント
実施経緯（3回）	2020年11月11日 12月9日 2021年2月25日
講師	木下勇 海野芳幸 小池潤 上原薫



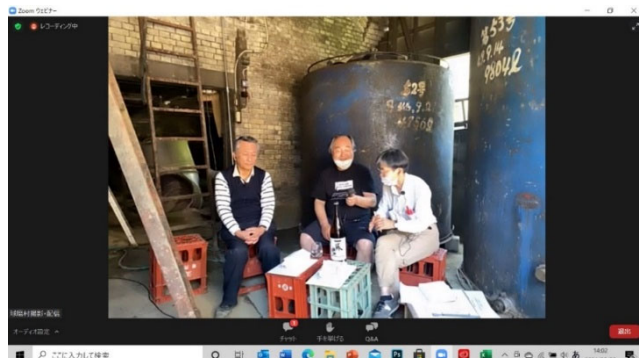
⑥熊本災害復興の会

テーマ	復興まちづくり
実施経緯（1回）	2021年5月29日
講師	渡会清治 江田隆三 臂徹

（熊本会場）



（球磨村会場）



Ⅱ. 自治体職員向け地域主体のまちづくり出前講座

①山口市

テーマ	①エリアビジョン ②プレイスメイキング
実施経緯	2020年11月9日
講師	園田聡 木藤亮太 宋俊煥 田嶋麻美



②つくば市

テーマ	①まちなかの活性化 ②住宅地のマネジメント ②まちづくりを支援するルール・制度
実施経緯	2020年11月2日
講師	内山征 三村隆浩 川原晋 中川智之



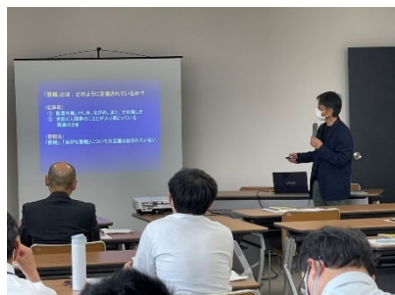
③焼津市

テーマ	①コロナとまちづくり ②まちなかの活性化 ③効果的なワークショップの進め方
実施経緯	2021年1月19日
講師	海野芳幸 内山 征 上原薫 三木和美 植田真衣



④三鷹市

テーマ	①地域主体のまちづくりの必要性 ②まちなかの活性化とオープンスペース ③美しい景観とは？－景観まちづくり－ ④共同化の進め方 ⑤三鷹台駅間周辺地区における防災まちづくりの考え方
実施経緯	2021年5月13日
講師	内山征 鈴木俊治 木村晃郁 神谷秀美 沼尾航平



Ⅲ. 三陸沿岸まちづくりワークショップ

テーマ	東日本大震災の復興まちづくり
実施経緯 (3回)	2020年12月13日(石巻市) 2021年1月30日(大槌町) 2021年2月27日(気仙沼市)
講師	石巻市 姥浦道生 平野勝也 小泉瑛一 等12名 大槌町 尾崎信 小市浩伸 伊藤夏樹 等9名 気仙沼市 山内宏泰 菅原昭彦 阿部俊彦 等10名



Ⅳ. プレイスメイキングワークショップ

テーマ	①短期的なプレイスメイキングの実践と効果把握 ②エリアプラットフォーム
実施経緯(2回)	2021年3月22日 3月27日
講師	内山征 高野雄太 介川亜紀 植田真衣



V. まちビト・トーク

テーマ	まちづくりの先導役・担い手づくり
実施経緯（2回）	2020年11月27日 2021年3月5日
講師	安藤勝信 高山正明 山崎嵩拓 右田萌 和田早永



VI. みんなのまちづくりNOTE

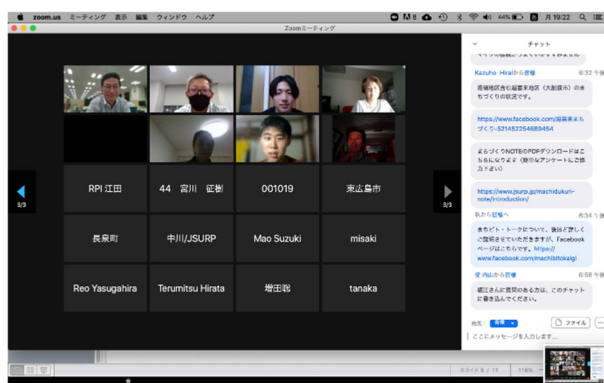
テーマ	地域主体のまちづくりに取り組みたい人が最初に読む本
実施経緯	4テーマで作成
講師	復興まちづくり（江田隆三） 防災まちづくり（藤賀雅人） まちの拠点づくり（山本大地） 景観まちづくり（鈴木俊治）



<https://www.jsurp.jp/machidukuri-note/introduction/>

VII. 地域主体のまちづくりシンポジウム

テーマ	①2020年度の振り返り ②地方都市でのエリアマネジメント ③若手のまちづくりの担い手づくり
実施経緯	2021年6月28日
講師	堀江祐典 小泉瑛一 右田萌 相田直輝 内山征



3. 実施成果

(1) 達成状況

①プログラムの実施状況

当該事業の当初の事業計画（予定地区、予定回数、予定講師数）と、実施状況を比べると事業規模が大きくなった。

これは、地域団体や自治体等からの要請があり対応したことや、また、三陸沿岸まちづくりワークショップでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を踏まえ、複数地区に分けて実施したことなどから、そのように実施した。

このような工夫が、地域主体のまちづくりについて、より効果が出ることを期待する。

<事業計画と実施状況の比較>

事業	当初計画			実施状況		
	地区数	回数	講師等の数	地区数	回数	講師等の数
1. 地域住民を対象とした地域主体のまちづくり出前講座	5	15	30	6	14	43
2. 自治体職員向けの地域主体のまちづくり出前講座	5	5	20	4	4	18
3. 三陸沿岸まちづくりワークショップ	1	1	10	3	3	27
4. プレイスメイキングワークショップ	1	1	5	1	2	5
5. まちビト・トーク	－	1	4	－	2	8
6. 地域主体のまちづくりガイドラインの作成・配布・公表	－	3 (テーマ)	3 (執筆者)	－	4 (テーマ)	4 (執筆者)
7. 地域主体のまちづくりシンポジウムの開催 (JSURP 地域主体のまちづくりフォーラム)	－	1	3	－	1	5
合計	12	27	75	14	30	110

②意識の醸成

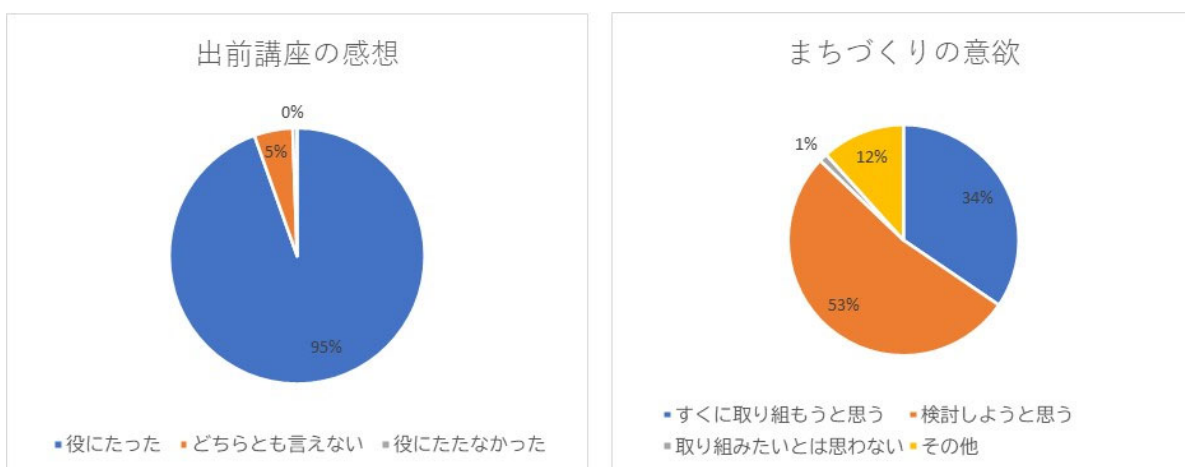
地域団体向け出前講座、自治体職員向け出前講座において実施したアンケート結果より、本事業の有効性を確認する。

1) 地域団体向け出前講座

6 地域の各回の参加者に実施したアンケートでは、本事業の出前講座について、約 95%の方が役になったと回答している。

また、約 34%の方がすぐにまちづくりに取り組む意向を持ち、約 53%の方がまちづくりの実践を検討すると回答している。

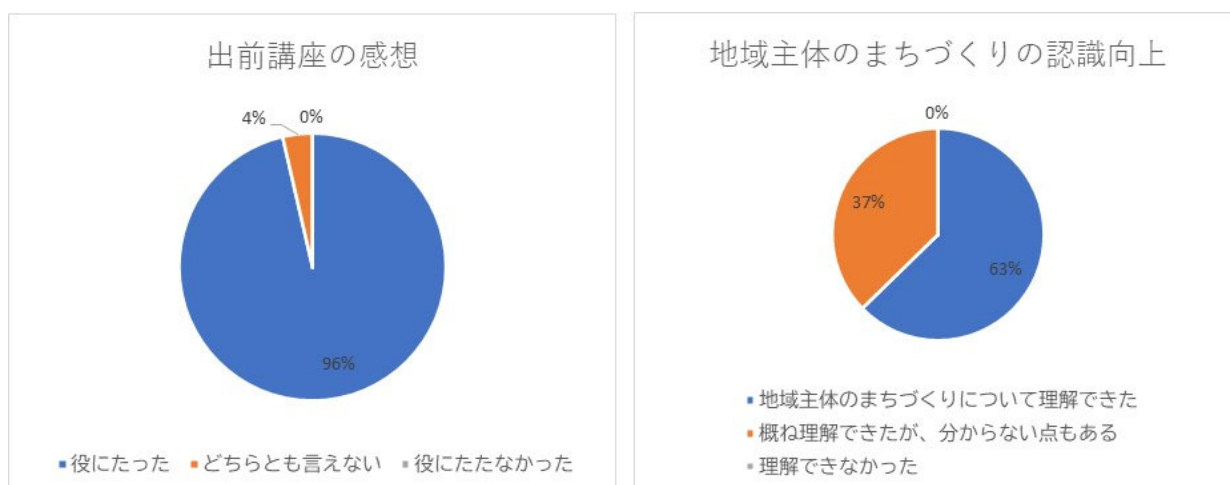
このようなことから、地域向け出前講座は、地域主体のまちづくりについて一定の効果があることがわかる。



2) 自治体職員向け出前講座

4 自治体の参加者に実施したアンケートでは、本事業の出前講座について、約 96%の方が役になったと回答している。また、約 63%の方が地域主体のまちづくりについて理解でき、約 37%の方が概ね理解できたと回答している。

これによって、自治体職員から地域団体、住民等への地域主体のまちづくりの推進が期待される。



③エリアプラットフォームの構築

プレイスメイキングワークショップは、短期間ではあるが、まちづくりの実践を地域団体が体験し、今後の地域主体のまちづくりに役立てることを目的に実施した。

2020 年度実施した常陸多賀駅周辺地区では、この事業を契機に、エリアプラットフォームについて議論が進み、具体の地域団体が設立され、大学等と連携したエリアプラットフォームが誕生した。

このように小さいながらも実践を通じて、地域主体のまちづくりが具体化していく効果が把握できた。

④2019 年度に実施した地区への追跡調査

2019 年度に当該事業を実施した地域団体、自治体への追跡調査を実施した。

1) 地域団体向け出前講座

2019 年度は、6 つの地域で出前講座を実施したが、確実に地域主体のまちづくりにつながっている地域が多い。

地域が取り組みたいテーマに合った講師を派遣し、まちづくりについてのワークショップで具体の進め方のアドバイスを行うプログラムであり、複数回の連続講座で実施することがこのような成果につながっていると考えられる。

実施地区	追跡調査結果
①平塚駅周辺地区	<ul style="list-style-type: none">・当該地区では、まちの拠点づくり、景観まちづくりをテーマに、平塚まちなか活性化隊（任意団体）を対象に出前講座を実施した。・出前講座を参考に、まちの拠点として「まちなかベースきち」を開設し、多様な活用の拠点として運営している。・また、大門・浜大門通りの空間形成ガイドラインを策定し、景観まちづくりを地域主体で進めている。加えて、別の通りにおいても、空間形成ガイドラインの作成を行い、通りごとのまちづくりを進めている。
②笠間稲荷門前通り地区	<ul style="list-style-type: none">・当該地区では、まちづくりの資金、オープンスペースの活用、まちなかゼミナールをテーマに、かさまち考委員会（任意団体）を対象に出前講座を実施した。・レクチャーの内容を参考に、2019 年度内にオープンスペースの活用を実施した。また、2020 年度に入り、クラウドファンディングに取組み成功している。・まちなかゼミナールについては、チラシ作成まで行ったが新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、実施の機会を伺っている。
③焼津駅周辺地区	<ul style="list-style-type: none">・当該地区では、まちなかの活性化、空き店舗の活用をテーマ

	<p>に、有志団体を対象に出前講座を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度に入り、空き店舗を活用して、コミュニティスペース及びカフェ、交流広場を構成する施設を開設し、運営している。 ・また、徐々に空き店舗を活用した新しい店舗が増えつつある。
④大船渡市浦浜泊地区	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地区では、まちの散策ルートづくり等をテーマに、浦浜泊連絡協議会まちづくり委員会を対象に出前講座を実施した。 ・2020年度に入り、地域住民でまち歩きを実施し、散策ルートとなる観光スポットを確定させた。今後、看板の設置やマップ作りを進める予定である。
⑤熊本市新町古町地区	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地区では、熊本地震後の街並み保全をテーマに、まちなみトラストを対象に出前講座を実施した。 ・現在も、復興まちづくり、建物の保全活動を推進している。
⑥墨田区東墨田地区	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地区では、工場と住宅の融合等をテーマに、住民団体を対象に出前講座を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響から、1回の講座しかできなかった。その後の活動も休止している。

2) 自治体職員向け出前講座

2019年度は、5つの自治体で出前講座を実施したが、その1つに静岡県長泉町があった。

長泉町では、役場からの働きかけで、鮎坪公園周辺地区の住民団体が、2020年度の地域団体向け出前講座に応募し、出前講座を実施している。

自治体職員向け出前講座で、地域主体のまちづくりの共通理解を形成し、地域へ波及するという具体的な成果が出ていると言える。

(2) 今後の取組方針

本事業を実施し、得られた知見、改善点、体制のあり方を述べる。

①得られた知見

具体的に取り組みたいテーマを持つ地域に、その分野の専門家を派遣することにより、まちづくりに進展する効果があることが分かった。今後、募集する際には、テーマの具体性や意欲を評価し選定することが望まれる。

また、自治体職員においては、地域主体のまちづくりを普及するために、当該出前講座が十分に役に立つことが分かった。

プレイスメイキングワークショップでは、小さな実践ではあるが、それを契機にエリアプラットフォームの形成につながったという成果があり、速効性のある効果があった。

②改善点

多くの地域、自治体では、まちなかの再生・活性化とクロスして、防災、緑地、空間活用などの多様なテーマが望まれていることが分かった。

今後、出前講座のテーマの調整においては、今年度の実施結果等を例示するなどにより、きめ細かなテーマ設定を図っていく必要がある。

③体制のあり方

当協会のような中間支援の団体が、地域や自治体のニーズに合わせて、オーダーメイドの出前講座を実施することは、今回の事業の感想を見ても有効であることが分かった。

より多くのニーズに応えられるように、講師の発掘と円滑な派遣方法を検討し、体制を強化することが有効である。

さらに、地域主体のまちづくりについての経験・学習の機会をつくり、若手専門家を教育していくプログラムも有効である。そのために、まちビト・トーク、みんなのまちづくりNOTE等の取組は重要である。

加えて、当該事業のような短期的なプログラムにおいても、エリアプラットフォームの形成につながった事例を踏まえて、今後も地域においてエリアプラットフォームの構築について働きかけをしていくことが重要である。